

烏丸半島エリア

- 湖岸の無料駐車場を使って岸釣りしやすいエリア
- 赤野井湾は広大な産卵場。春に魚が入る
- 赤野井湾の奥は一面にハスが広がっていたが2017年頃からハスが消滅
- 烏丸半島も駐車場を利用して岸釣り可能



湖岸緑地。赤野井湾の奥に続く石積みの護岸。春は産卵のために赤野井湾の浅場に入ってきた大型がクラックベイトやスピナーベイトでねらえる。秋期もベイトフィッシュが入ると巻き物が効く



石積みの護岸、ヨシ原、プッシュカバーがある水路。春に水位が高くなると本湖にいた魚が水門を通過して水路に入る。夏は高温を嫌った多くの魚が水通しのよい快適な場所を求めて沖に出る



新守山川。両岸がコンクリート護岸になっている。春は水温が上がり始める時期が早いので、ベイトフィッシュや大型バスが入る。足もとの護岸に沿って巻き物を引くのがオススメ



赤野井1駐車場。無料、トイレあり。24時間出入り可能。約55台のスペースがある



新守山川河口の水門から本湖側を撮影。岸はコンクリート護岸や石積みの護岸で、沖にも石が点在している。岸にヨシ、ガマ、プッシュがあり、夏はヒシモやウイードが多くなる。春に水位が高くなると魚が川に入る。また、川からの濁りに魚が集まることもある



新守山川の河口。橋のシェード、橋脚、護岸際がねらいめ。足場が高いのでライフジャケットを着用。取り込み用のネットも必要だろう



手前の水門と烏丸半島の岬を結んだラインより奥は、ヨシ群落の保護区で、ハスを再生する実験も行なわれている。そのため滋賀県の許可を得ていない動力船は進入禁止。岸釣りは可能。春は水門周りでスピナーベイトやクラックベイト、バイブレーションが効果的



赤野井湾の最奥は、かつて一面をハスがおおっていたが、2017年頃からハスが消滅した。春のスポーニングエリア



水門前の石積み護岸。沖にウイードが点在する。水位が高くなると魚が浅場に入る。写真左の大型風車は2019年早春に撤去された



●滋賀県立琵琶湖博物館
開館：9：30～17：00（最終入館 16：00）
月曜休館。月曜が祝日の場合は翌日休館
料金：大人 800円、高校生大学生 450円、中学生以下無料
住所：滋賀県草津市下物町 1091



琵琶湖博物館の駐車場。ここに駐車して烏丸半島湖岸で釣りができる。駐車場の営業時間は8：30～18：00。料金は普通車 1日 550円。琵琶湖博物館の入館者は無料。博物館で駐車場サービス券をもらえる。烏丸半島の出入口は夜間閉鎖される。閉鎖時間は20：30～翌朝7：30、7～8月は21：00～翌朝6：00



●Fish! tackle shop
TEL090-1711-0381
広告掲載表3